

「高齢者の救急医療と在宅医療を考える」 ～みんなで守ろう！～松戸市の救急医療～ アンケート

◆ 松戸市の救急医療の課題

1. 情報共有	患者の病歴や生活状況、日常の身体状況等を、救急搬送時に救急隊と受入れ先の医療者に迅速に伝えること
2. 判断基準	救急搬送すべき状態かどうか迷った場合に判断する基準をある程度明確にしておくこと
3. 意思決定	患者がどのような医療処置を希望しているのか、または望んでいないのかを理解し、その実現を支援する体制を整えていくこと
4. 予防的な手立て	急病が生じないようにするための予防を強化することや、在宅医療として対応できることをさらに充実させていくこと
5. 入院後の後方支援	患者が救急搬送された後、スムーズな治療と退院支援につなげられるようにするために在宅医療と病院がそれぞれ果たすべき役割を明確にし、体制を整えていくこと

裏面もございます=>

◆ シンポジウムへの参加動機

Q6. 本日のシンポジウムへの参加動機を教えてください。(複数回答可)

1. 今後の救急医療について不安を感じているから
2. 救急医療について、日頃見聞きしている情報では不十分だと感じているから
3. 第一部(病院からの発表)の内容に興味を持ったから
4. 第二部の討議を聞いたかったから
5. その他()

Q7. 2013年10月10日に「松戸の救急現場はどうなっているの!? 救急隊に聞いてみよう」をテーマとした多職種合同カンファレンス(本日上映した映像)が開催されました。このカンファレンスに参加しましたか?

1. はい
2. いいえ

◆ シンポジウムに対する評価

Q8. 第一部(病院からの論点提示)の発表について

1. とても良かった
2. 良かった
3. どちらでもない
4. あまり良くなかった
5. 良くなかった

その理由をお書き下さい。

()

Q9. 第二部(多職種による討議)について

1. とても良かった
2. 良かった
3. どちらでもない
4. あまり良くなかった
5. 良くなかった

その理由をお書き下さい。

()

Q10. その他、ご意見・ご要望がございましたらお聞かせ下さい。

()

◆ あなたご自身について

- | | | | |
|-------------|---------------|------------|--------|
| 1. 医師 | 2. 歯科医師/歯科衛生士 | 3. 看護師 | 4. 薬剤師 |
| 5. PT/OT/ST | 6. ソーシャルワーカー | 7. ケアマネジャー | 8. 介護職 |
| 9. 行政職 | 10. その他() | | |

● 男 / 女

● 年 齢 () 才

ご協力いただきありがとうございました。

このアンケート用紙は 2F 受付にて回収致します。